

競技・審判上の確認

競技委員長 小 谷 和 幸

審判委員長 鈴 木 和 彦

1 競技規則について

- (1) 2022年度 公益財団法人 日本バレーボール協会6人制競技規則により実施する。ただし、ネットの高さは男子2m43cm、女子2m24cmとする。本大会はすべて3セットマッチとし、ワンボール・システムとする。また、大会使用球は、男子：ミカサ製カラーボール「V300W」、女子：モルテン製カラーボール「V5M5000」とする。

2 チーム構成について

- (1) チームは監督・コーチ・マネージャー各1名・選手18名以内とし、試合毎に14名以内の選手をコンポジションシート（構成メンバー表）にエントリーする。なお、監督・コーチがともに外部指導者の場合は引率責任者を（校長が認める当該校の教員）届け出なければならない。
- (2) 構成メンバー14人のうち、外国人留学生は2名までとし、コートへの出場はそのうちの1名に限る。
- (3) 参加申込書に記載された監督・コーチ・マネージャーに変更がある場合、チームスタッフ変更届を1月22日（日）～27日（金）の期間に、松本大会競技副委員長宛てにメールで送信すること。ただし、変更がない場合は届けを出す必要はない。その後に変更がある場合は、試合当日の会場で提出すること。コンポジションメンバー（構成メンバー）提出後は大会を通じて変更はできない。
- (4) 各試合のエントリーは、第1試合はプロトコール30分前、第2試合以降は、前の試合の第1セット終了までに競技本部にある各チームの構成メンバー表（COMPOSITION MEMBER）によりエントリーすること。（構成メンバー表は競技本部に用意されているためチームは持参する必要なし）。また、試合が連続する場合は、試合終了後すみやかに提出すること。コンポジションメンバー（構成メンバー）とは、各試合毎にエントリーされたメンバーである。

3 競技参加者について

- (1) 監督・コーチ・マネージャーは各1名、選手14名以内とする。監督・コーチは当該高等学校の教職員、マネージャーは当該高等学校の教職員もしくは生徒とする。ただし、監督・コーチがともに外部指導者の場合は、当該高等学校長および高体連バレーボール専門部長の承認を得なければならない。なお、引率責任者及びトレーナーはベンチに入ることはできない。
- (2) 監督・コーチ・マネージャーは、それぞれが左胸にマークをつけなければならない。
- (3) 監督はスコアラーズテーブルに最も近い位置でチームベンチに座る。ただし、ラリー中であっても試合を妨げない、または遅延させない限り、自チームベンチ前のアタックラインの延長線からウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で立ちながらも歩きながらも指示を出すことができるが、ラインジャッジの視界を遮ってはいけない。
- (4) ベンチスタッフは、ネクタイ及びジャケットを着用するか、統一された服装で襟付きのものを着用する。Tシャツ等の襟のないものや、短パン、ハーフパンツ等は原則として許可されない。マネージャーが生徒の場合は、制服または選手ウェアと同じジャージが望ましい。
- (5) 試合中は、監督・コーチ・マネージャー及び控え選手はすべてマスクを着用すること。

4 コートワイピングについて

- (1) コート内の選手が、ラリー終了からサービス許可までの間に行う。ただし、コンポジションメンバー（構成メンバー）以外の登録されたメンバーから最大2名までクイック・モッパーとしてベンチの両側に配置できる。1名の場合は監督席と記録席の間に配置しワイピングを迅速に行う。服装は、試合用ユニフォーム以外の統一された服装とする。クイック・モッパーは、モッピングが目的なので応援等はできない。
- (2) タイムアウト中、およびセット間については、クイック・モッパーが行う。ただし、クイック・モッパーがいない場合は、競技者あるいはベンチスタッフが行っても良い。

5 リベロ・プレーヤーについて

- (1) リベロ・プレーヤーは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができる。
- (2) リベロ・プレーヤーは、チームの他の選手と、主要な部分の色が異なるユニフォームを着用しなければならない。ユニフォームの色は、チームの他の選手とは明らかに対照的でなければならない。対照的な色でない場合、競技委員・審判委員の判断で、ベストを着用することがある。
- (3) 本大会は、アシスタント・スコアラーを参加チームが担当するので、交代する時はサイドライン上で一度、対になり立ち止まる。また、タイムアウト後は、前ラリーの状態に戻り、その後に交代する。
- (4) 正規の競技者とリベロ競技者については、以下のとおりです。
 - ①登録12名の場合、リベロ競技者の人数は0名・1名・2名のいずれでも良い。
 - ②登録13名及び14名の場合、リベロ競技者の人数は2名でなければならない。

6 試合と試合前の練習について

- (1) 全日程、開場時間は8：30とする。また、1日目・2日目の練習開始は9：00とする。但し最終日については8：30とする。
- (2) 全日程、第1試合の開始時刻は9：30とする。第2試合以降は追い込みとする。
- (3) 今大会についてはアップフロアは設定されていない。但し大会3日目美唄総体サブアリーナについてはボールの使用を認める。(ネット無し)
- (4) チームがその日の初戦の場合、アリーナにて、コート・ボール・ネットを使ったウォーミング・アップを30分間（ただし公式練習を含む）行う。その他の場所においてはランニング・ストレッチ等のみとし、ボールを使うことはできない。
- (5) 1日に2試合ある場合、試合が連続しない時は前の試合が終わってからおおむね10分後、連続する場合は20分後にプロトコールを開始する。
- (6) コート表彰やネットの上げ下ろしがある際のコート練習の開始については、競技委員や審判委員の指示に従うこと。
- (7) 公式練習には、構成メンバー以外の登録メンバーもボールキーパー（ユニフォーム以外のものを着用する）として練習に参加することができる。 ※ボールキーパーはコート外でボールを拾うことのみが許される。
- (8) 公式練習を両チームが別々に行う場合、ネットを使用して練習しているチームの妨げにならないよう、もう一方のチームはエンドライン後方のフリーゾーンまたは自チームベンチ前にてウォームアップを行う。
- (9) 試合前の練習では、その試合にエントリーされた14名以内の選手以外は、必ずマスクを着用すること。
- (8) 前の試合の終了後は大会役員によるベンチやネットの消毒作業やコートチェック等の確認作業があるため、チームは競技委員や審判委員からの指示があるまでコートに入らないこと。

7 その他

(1) コートオフィシャルについて

- ①コートオフィシャルはアシスタント・スコアラー2名、ラインジャッジ4名、点示2名、の計8名とする。
- ②1日目・2日目について、第1試合は第3試合のチームから8名、以降は前試合の敗退チームが行う。
ただし、大会審判委員や補助役員生徒がコートオフィシャルを行う場合がある。
- ③3日目については、地元協会で行う。

(2) 会場への入場について

今大会はチームおよび観客の入場を可とする。チームについては別紙大会参加ガイドラインに従うこと。
入館する場合は、健康チェックフォームより『入場許可証』を取得し、入館すること。一般観客も同様とする。
スマートフォンがない場合のみ『健康チェックシート』の使用を認める。

(3) 観戦について

- ①観戦は各会場の観客席・2階ギャラリーで行うこととする。指定された観戦エリアを設けていないので密にならないよう配慮して応援をすること。
- ②観戦をしながら、声を出して応援することはできない。また、スティックバルーンやメガホンは持込不可とする。
- ③部旗・のぼりについては認めるが、試合の当該チームを優先とする。

(4) ビデオ撮影について

チームベンチ付近での撮影は禁止とします。撮影については観客席かギャラリーで行うこと。